

# 実施概要

- 調査目的 : 2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催に向け、ボランティアスタッフ確保が、大きな運営課題となっている。  
そこで、今回の調査では、2014年以降のパラリンピックや障がい者スポーツに対する国民の実態・意識変化を把握し、時系列変化・国際間比較を通じて今後の課題を明確にし、今後の浸透・啓蒙活動につなげる為の基礎資料とする。
  
- 調査地域 : 日本：全国 その他地域：国ごとに異なる。詳細はP4に掲載。
  
- 調査対象 : 20歳～69歳男女 インターネットリサーチモニター
  
- 有効回答数 : 7,500名（日本：1,560名 海外：500名 ※ベトナムのみパネルの都合上、485名）  
割付は 性年代均等割り付け（一部国についてはパネルの都合により均等回収を崩している）  
※細かい内訳についてはP6に掲載。
  
- 調査方法 : インターネットリサーチ
  
- 調査時期 : 【本調査】 2017年3月1日（水）～2017年3月24日（金）
  
- 調査実施機関 : 株式会社マクロミル

# 海外 調査実施地域について

## 調査実施地域

青字はオリンピック開催都市、として集計

		(%)
韓国 (n=500)	ソウル	50.8
	仁川	10.0
	京畿道	39.2

アメリカ (n=500)	ニューヨーク州	23.2
	ニュージャージー州	18.8
	ペンシルヴァニア州	0.2
	カリフォルニア州	21.6
	イリノイ州	20.8
	インディアナ州	3.0
	テキサス州	12.4

フランス (n=500)	イル＝ド＝フランス	100.0
-----------------	-----------	-------

ドイツ (n=500)	ベルリン	56.0
	自由ハンザ都市ハンブルク	44.0

オーストラリア (n=500)	シドニー	38.6
	メルボルン	33.6
	ブリスベン	27.8

ブラジル (n=500)	リオ・デ・ジャネイロ州	100.0
-----------------	-------------	-------

		(%)
イギリス (n=500)	ロンドン	28.6
	バーミンガム	14.4
	リーズ	8.6
	グラスゴー	10.0
	シェスフィールド	6.2
	ブラッド・ソード	0.6
	リバプール	6.2
	エジンバラ	9.4
	マンチェスター	16.0

中国 (n=500)	北京市	100.0
---------------	-----	-------

タイ (n=500)	北部	11.6
	中部	67.4
	東北部	7.2
	東部	7.4
	南部	6.4

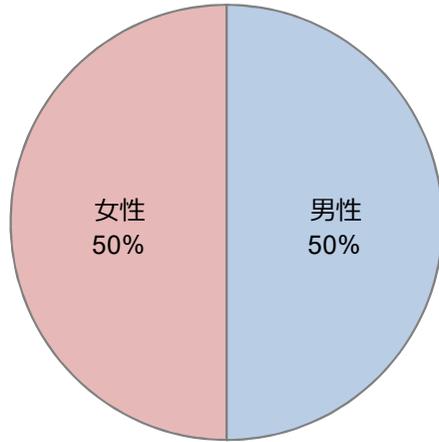
ベトナム (n=485)	西北	1.0
	東北	7.0
	紅河デルタ	19.8
	北中部	5.6
	南中部	13.4
	中部高原	2.7
	東南部	41.2
	メコンデルタ	9.3

		(%)
マレーシア (n=500)	クアラ・ Lumpur	20.6
	ラブアン	0.8
	プロジャヤ	0.4
	ジョホール州	9.4
	クダ州	4.8
	ケランタン州	1.4
	ムラカ州	2.4
	ヌグリ・センビラン州	3.6
	パハン州	2.2
	ペナン州	9.2
	ペラ州	5.6
	ブルリス州	0.2
	セランゴール州	31.2
	トレンガヌ州	1.4
サバ州	2.2	
サラワク州	4.6	

シンガポール (n=500)	シンガポール中央地区	18.2
	北東地区	35.6
	北西地区	16.0
	南東地区	14.0
	南西地区	16.2

# 回答者のプロフィール(日本 n=1,560)

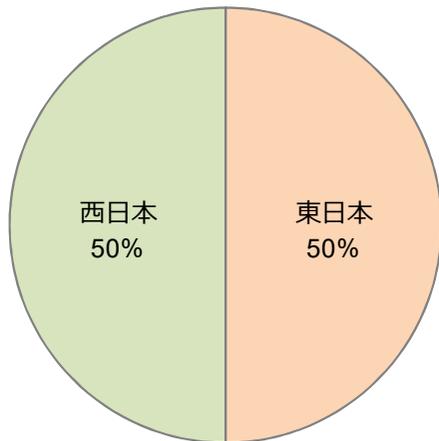
## 性別



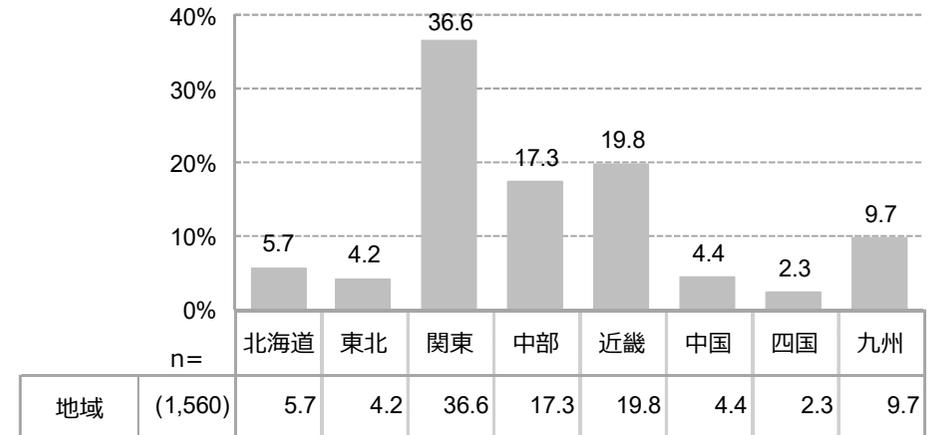
## 性年代別



## 地域 (東西)

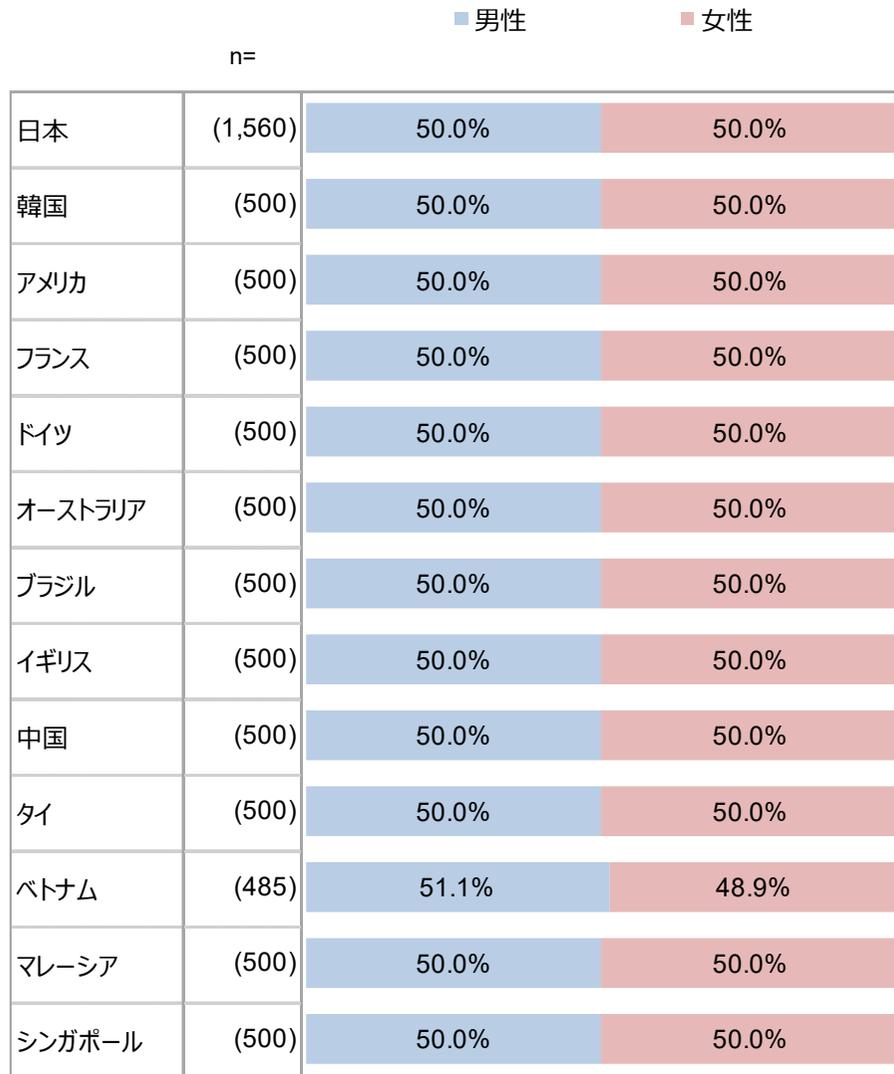


## 地域 (エリア)



# 回答者のプロフィール

## 性別



## 性年代別

